



学校だより

上小岩



令和6年 1月31日

NO.10

江戸川区立上小岩小学校
校長 宮本 知司

「自分で考え行動する」 ～「のびる かみっ子」が育っています～

副校長 富田 伸雄

3学期が始まり、上小岩の子供たちは、新しい年の気持ちを、書初めを通して表現していきました。先日の学校公開・道徳授業地区公開講座では、子供たちの書き上げた作品を見ていただくとともに、学習の様子も参観していただきました。また、4・5・6年生を対象に、車いすバスケットボールの元日本代表の大嶋義昭選手と同チームの山口徹朗選手にお越しいただき、講演をしていただきました。どのような状況にあらうとも、最善を尽くすことの大切さ、自分で考えて生きていくことの大切さについてお話していただきました。「体験」することや、「本物」を見ること・話を聞くことができたのは、子供たちにとってとても貴重な機会となりました。

1月は、書初め大会や学校公開といった行事がありましたが、もう一つ、代表委員会を中心に「お年玉募金」という活動がありました。これは本校の児童が長年続けてきた活動の一つで、「社会のために役立ちたい」という思いから始まりました。集まった募金は、例年、区内の社会福祉諸活動に役立てられています。今年も代表委員会でお年玉募金の活動を行おうと計画をしておりました。しかし、始業式当日、代表委員の児童から、『今年の募金は、能登半島地震への寄付にしたいです。』という声がありました。さっそく代表委員会の児童で集まり、義援金を集めるための取組としようということになりました。1月10日から12日の3日間、代表委員の児童の呼びかけのもと、児童、保護者、地域の皆様からご協力をいただき、たくさんの義援金が集まるという形となりました。集まった義援金は、児童とともに北小岩コミュニティ会館に届けることができました。



私は、子供たちから「こうしたい!」という思いをもって、自分たちで行動し、その思いを多くの子供たちが共感し、協力していった姿にとっても感動しました。学校は、子供たちへの指導や指示が多い場ではあります。しかし、私たちは、子供たちの主体性を伸ばし、自分で考え行動する力を育てたいと考え、日々生活しています。今年度は、「のびるかみっ子」という合言葉を掲げています。今回は、「困っている方々への助けとなる活動がしたい。」という児童の思いが、実を結ぶ形となりました。一人一人の力が、様々な場面で伸びていくことを期待し、これからも指導を重ねていきたいと思います。

来年度の学校生活について、「時程」「春・秋の行事」「プール」等のお知らせを2月中に別紙にてお伝えいたしますのでご確認ください。

<<2月の全校道徳>>

『生命の尊さ』

生きることのすばらしさを知り、
生命を大切にする。

